

# 校内研修の進め方シート

総合教育センター授業づくり支援課特別支援班

【A(あてはまる)、B(大体あてはまる)、C(あまりあてはまらない)、D(あてはまらない)】

内 容	評 価
<b>1 校内研修の計画段階</b>	
① 研修テーマ(主題)と学校教育目標や教育課題の関連付けが適切である	
② 研修テーマと児童生徒の実態との関連付けが適切である	
③ 日常の実践に生きる研修内容である	
④ テーマ設定の手順は適切である	
⑤ 仮説は、学校の実態や実践に即した具体的なものである	
⑥ 自校の実態に合わせた研修評価の指標が設定してある	
⑦ 児童生徒の具体的な変容が最終目標として計画されている	
⑧ 研修参加に対して、配慮がなされている	
⑨ 実施時期は、日頃の教育活動と照らして適切である	
⑩ 研修計画の立案において、管理職が適切に関わっている	
⑪ 全体の計画に個々の課題が反映されるようすり合わせをしている	
⑫ 外部講師との連携を視野に入れた計画になっている	
⑬ 校外研修との連携を視野に入れた計画になっている	
<b>2 研修会、授業反省会等の実施段階</b>	
① ワークショップや演習、少人数グループ等、方法や形態が工夫されている	
② 許容的で意見を出しやすい雰囲気である	
③ 時間配分や時間管理は適切である	
④ 参加者の態度が意欲的である	
⑤ ファシリテーションが適切に行われている	
⑥ 資料が分かりやすい	
⑦ 説明が適切である	
⑧ 記録が適切である	
<b>3 実施後段階</b>	
① 全職員による評価の機会が確保されている	
② 外部講師の支援を適切に受けている	
③ 成果と課題を適切に把握し、共有している	
④ 課題への具体的な改善策を講じている	
⑤ 記録が適切に整理されている	
⑥ 研修の成果を日常の教育活動に生かしている	
⑦ 研修のまとめとしての成果物を作成している	
⑧ 成果物は校外に公開可能となっている(冊子、ホームページ)	